

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	6	新井田 昭 男	
<p>1. 木古内町における漁業振興について</p> <p>現状、全道的な水産業での主要魚種の水揚げが大幅な減となっており、これは乱獲や異常気象による水温上昇での環境変化が大きな要因とされ、大きな社会的問題となっています。</p> <p>木古内町議会では、1月20日に議会懇談会の一環として、上磯郡漁業協同組合（以下組合）との意見交換会を実施しております。</p> <p>その中で上磯郡4漁協が合併してから16年が経過し、平成29年度以降木古内地区の基幹事業においては、販売事業の取り扱いの大幅な減少により、組合組織も大きな経営改革を余儀なくされる状況となっており、本来、町の基幹産業の位置づけであるはずの漁業が、まさに危機的状況にあります。</p> <p>当町と組合の連携の中、木古内地区の事業展開においては、一定の補助体制を取っておりますが、総合的効果が一向に現れていないと認識せざるを得ない状況となっております。</p> <p>当町の漁業が危機的状況にある中で、基幹事業の活性化に向け、組合、行政、場合によっては企業との連携の中、更なる協働による改革が必要不可欠と考えます。</p> <p>そこで、次のことについて町長にお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たな漁業振興策の検討について 2. 最新技術「AI」の活用の考えについて（スマート水産） 3. 企業誘致の一環として、法人による養殖業活性化について 4. 木古内町の漁業振興を推進するための水産に特化した部署新設について 			町 長